

2 原井婦人会

●コミュニティ計画
唐原プロジェクトNO.5 地元特産品～果樹加工品のアピール～
唐原プロジェクトNO.17 唐原17 寺町の風格～集落景観の保全・創出

代表者 近砂 みゆきさん ☎ 72-4322 会員数 ● 27

地域のきずなづくりを目指す

むかしから活動していた「原井婦人会」の活動の継続発展、地域の絆づくりを目指しています。

原井地区は、美しい自然環境に恵まれ、風格ある景観があります。この景観の保全のため、歴史産物(原井観音堂など)の清掃や地域の美化活動を行います。

また、地域で採れる果樹や農作物などの資源について学び、新たな加工品を開発し、道の駅やさわやか市などで販売することを目指します。

このほか、地域で開催されるどんど焼きのサポートなど「地域の絆づくり」を積極的に行います。



1 上毛龍神太鼓

●コミュニティ計画
友枝プロジェクトNO.14 旧中央公民館の利用～伝統建築物の積極利用～
友枝プロジェクトNO.16 神楽の継承～神楽の保存と継承～
友枝プロジェクトNO.18 生き生き生活～地域活動の提供～
唐原プロジェクトNO.2 山国川流域名所巡り～区域を越えた流域文化圏の連携～

代表者 中 佳代子さん ☎ 72-2606 会員数 ● 16

和太鼓を通して、地域活性化を図る

日本の伝統芸能『和太鼓』を用いて、新しいパフォーマンスに挑戦しています。今年度は、できるだけ多くの演奏活動を行って神楽や祭囃子に加え『一味違う和太鼓演奏』に興味を持った地域内外の方々の交流の場をつくることを目的に、「参加型和太鼓体験会」を地域づくり活動団体のみなさんと協力しながら開催することを目指します。開催場所は、旧中央公民館を予定しており、伝統建築物の積極的な利活用につなげます。

このほか、町外へも出掛けて演奏活動を行って、知名度をあげていきたいです。



4 成恒子ども神楽愛好会

●コミュニティ計画
友枝プロジェクトNO.16 神楽の継承～神楽の保存と継承～

代表者 岩井 英樹さん ☎ 84-7520 会員数 ● 35

地域の伝統を子どもたちに継承するとともに健全育成を図る

子どもたちに地域の伝統芸能である成恒神楽を継承して、将来の担い手を育てるとともに、心豊かな大人に育ってほしいと願い、活動しています。また、いろいろな舞を習得し、更なる発展を目指します。

町内外の神社や老人介護施設、保育園など多くの場所で神楽を披露することで、1人でも多くの人に「成恒神楽」を知ってもらいたいと思います。



3 こうげ音楽倶楽部

●コミュニティ計画
友枝プロジェクトNO.14 旧中央公民館の利用～伝統建築物の積極利用～
友枝プロジェクトNO.18 生き生き生活～地域活動の提供～

代表者 弦本 里美さん ☎ 090-7929-4916 会員数 ● 10

地域参加型の音楽活動を通じ、地域の活性化を図る

特技である音楽活動を最大限に活かし、0歳から聴ける親子コンサート、有名音楽家を招聘した本格的なライブ・ワークショップなど各種企画を立案・実施し、地域の方が気軽に音楽に触れ、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が生き生きと参加・交流できる機会をつくります。さらに活動拠点を旧中央公民館とすることで、歴史を感じさせる素晴らしい木造建築の魅力が町内外に広く発信します。

また、地元の文化祭やお祭りなどに意欲的に参加し、住民同士の交流を深め、地域に根ざした活動を展開していきます。



平成26年度地域づくり活動事業公開認定会

新たに4団体が地域づくり活動団体に認定

6月1日(日)に、「地域づくり活動事業公開認定会」を開催しました。この認定会は、今年度新しく地域づくり活動を始める団体の目標と活動内容が、コミュニティ計画に掲げられた88のプロジェクトに合致するものかどうかを審査するもので、今年で7回目の開催となります。

新たに認定を受けようとしたのは「上毛龍神太鼓」「原井婦人会」「こうげ音楽倶楽部」「成恒子ども神楽愛好会」の4団体。「上毛龍神太鼓」は、古来から伝わる和太鼓を、旧中央公民館を活用し、継承する取組みを、これまで取組んできた写真を使いながらアピールしました。また、原井地区の女性を中心に結成された「原井婦人会」は、地域のきずなづくりをテーマに、集落の景観・史跡・文化の保全活動や地元特産品(加工品)の開発に向けた取組みについて発表しました。「こうげ音楽倶楽部」は音楽活動を通じた地域の活性化を目標に、地域の方々の参加型演奏会の開催に取組むことについて発表しました。「成恒子ども神楽愛好会」は、神楽の伝統を子どもたちに継承する取組みについて、模造紙を使って発表。また、子どもたちが実際に練習する様子を披露しました。

審査員を務める地域づくり協議会や町の補助事業を継続中の団体、副町長、企画情報課長からは、地域づくり活動を真剣に考えるゆえの厳しい質問やアドバイスが飛び交いました。

全ての発表が終わって、審査員が一堂に会して意見交換を行う「審査会」では、提案された活動の実効性や継続性などが、議論されました。

審査の結果、全4団体の活動提案が認定され、認定証が交付されました。これから始まる新しい地域づくり活動に、多くの人たちの期待が寄せられています。

